

「丹後アート大交流会」 丹後のアートの未来を共に描く交流会を開催

丹後のアートプロジェクトに関わってきた地域の協力者・関係者やアーティストをゲストとして迎え、過去の活動を振り返りながら今後の展開を語り合う交流会を開催します。つきましては、広報及び当日の様相について取材いただきますようお願いいたします。

- 1 日 時 令和8年3月20日（金・祝）13：30～17：00
（開場13：00）
- 2 場 所 まちまち案内所（京丹後市峰山町杉谷843）
- 3 テーマ 丹後のアートの未来を共に描く交流会
- 4 開催趣旨 丹後地域におけるアートプロジェクトを振り返りながら、アート活動の担い手同士の関係性を再確認・再接続することを目指す。
- 5 内 容 「Kaico-参加型アートプロジェクト」の関係者を中心としたクロストークと、丹後×アートの未来を参加者と語り合うワークショップ

ゲストアーティスト 鈴木昭男さん（サウンドアーティスト）
クロストーク登壇者 臼井勇人さん（臼井織物株式会社・たてつなぎ織物担当）
蒲田和加子さん（機屋育ち・山陰海岸ジオパークガイド）
寺島千絵さん（京丹後市教育委員会生涯学習課・フリーランスアートマネージャー）
宮北裕美さん（アーティスト）
山本拓海さん（京丹後市出身・京都工芸繊維大学大学生）

※オープニングには鈴木昭男氏によるパフォーマンスを行います。

- 6 主 催 京都府丹後広域振興局
- 7 参加申込 QRコードから事前申込（3/17（火）〆切）※参加無料



<参考> 「Kaico-参加型アートプロジェクト」について

丹後地域において、蚕から生成される資源を大切にしてきたことを、懐かしく思い（懐古）、振り返り見る（回顧）ことで、思いがけない出会い（邂逅）を創造する文化活動を【Kaico】と名付け、地域文化資源である「織物文化」を活用した、地域の魅力と住民の出会い直しを行う参加型アートプロジェクト。

R5年度には丹後ちりめんの生地「町の形」を型取り、縫い付ける『町を縫う』、R6年度には地域の価値や魅力をカメラや写真を通じて発見する『パシャパシャ丹後-はた織りと共にある暮らし』を実施。また、R7年度には機道具を用いて音を奏でる『音気楽団一機（はた）の妖精にきくー』を実施。

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府丹後広域振興局 企画・連携推進課 福井課長
TEL 0772-62-4300 FAX 0772-62-5894



3年間の軌跡を振り返り
立ち場を越えて出会う



かいこ かいこう
〜 回顧から邂逅へ 〜

2026年

3月20日 金 祝日

13:30~17:00 (開場 13:00~)

会場 まちまち案内所
京都府京丹後市峰山町杉谷843

参加無料 / 要申込

ゲスト

鈴木 昭男 サウンドアーティスト
2025年度Kaico「音気楽団」楽団長



1960年代の「なげかけ」と「たどり」のコンセプトによる自修イベントの体験の中からエコー音器ANALAPOSを創作し、演奏活動を展開。1987年、ドクメンタ 8

カッセルに出場した。1988年には、「一日の自然に耳を澄ます」「日向ぼっこの空間」を、日本標準時子午線の通る京都最北の丹後の山中で遂行。1996年、ベルリンで発表した巻に耳を澄ます「点音 "o to da te"」を、世界各地で継続している。即興演奏家としても知られる。
akiosuzuki.com



Kaicoー参加型アートプロジェクト 特別編



丹後アート大交流会

「Kaicoー参加型アートプロジェクト」は、丹後の織物文化をアートの視点から見つめ直し、「町を縫う」(2023)ー〈手芸〉、「パシャパシャ丹後」(2024)ー〈写真〉、「音気楽団」(2025)ー〈音〉と様々な手法で地域の皆さんと分野を横断して3年間展開してきました。

「丹後アート大交流会」では、その歩みを振り返り(回顧)つつ、これからの丹後のアートや文化や表現の可能性を参加者とともに考え、新しい出会いを繋げていきます(邂逅)。

関わってきた人、これまで外から見ていた人も、ちょっと気になってた人もどなたも大歓迎！肩書きを越えて、ゆるやかにつながり、丹後のアートの未来を語る時間を一緒にすごしましょう。

Kaico[カイク]：

丹後地域において、蚕から生成される資源を大切にしてきたことを、なつかしく思い(懐古)、振り返り見る(回顧)ことで、思いがけない出会い(邂逅)を創造する文化活動。

町を縫う

まち歩きをして見つけた「町の形」を、地域に眠っている「布」と「糸」を使って縫い、約400名の参加者が「町」を表現した作品を制作しました。



photo by Miku Imamura

パシャパシャ丹後ーはた織りと共にある暮らし

丹後地域の織物文化を学び、本格的なカメラで撮影した、機屋の町並みなどの写真作品を、旧尾藤家住宅ほか7カ所で展示しました。



photo by 安田哲馬

音気楽団ー機(はた)の妖精にきくー

機道具を楽器として、耳をすませ、音をさぐり、音であそぶ「音気楽団」を結成し、丹後半島4会場を舞台にパフォーマンスを披露しました。



photo by 安田哲馬

©bozzo

タイムテーブル

オープニング 13:30~

- ・鈴木昭男によるパフォーマンス & お話
- ・Kaico3年間の軌跡をスライドショーで振り返り

第1部 14:00~

Kaicoで生まれた繋がりや変化を振り返るトークセッション

登壇者

白井勇人

白井織物株式会社 織り手・たてつなぎ織物担当



蒲田和加子

機屋育ち・山陰海岸ジオパークガイド

寺島千絵

京丹後市教育委員会 生涯学習課 ふるさと創生職員
フリーランスアートマネージャー



宮北裕美 アーティスト

山本拓海

京丹後市出身・京都工芸繊維大学大学生



〜〜休憩・交流タイム(15:00~15:20)〜〜

第2部 15:20~

丹後×アートの未来を描くワークショップ

丹後の文化資源とアートを掛け合わせ、これから生まれる可能性やワクワクを、会場のみなさんと共創します。対話のなかから、新しいプロジェクトの芽が生まれるかも。

ファシリテーター

筒井章太

株式会社 京都丹後企画

甲斐少女子

京都府地域アートマネージャー・丹後地域担当

会場

まちまち案内所

京都府京丹後市峰山町杉谷843

託児スペース有り

小さなお子さま連れでも気軽にご参加ください！



▶MAP

お申込みはこちら

切
3/17
火



参加無料/要申込

〈お問い合わせ〉

京都府丹後広域振興局企画・連携推進課

E-mail t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

TEL 0772-62-4300